

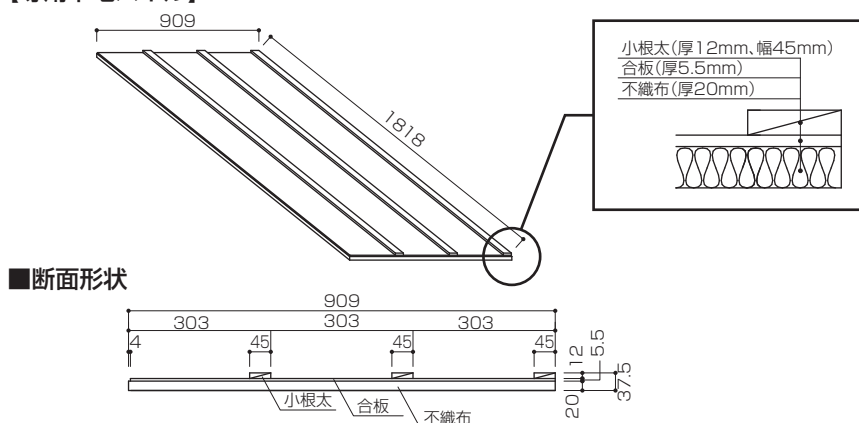
♪♪ ダイケン オトユカベースS ♪♪

ダイケン「オトユカベースS」をご採用いただきましてありがとうございます。

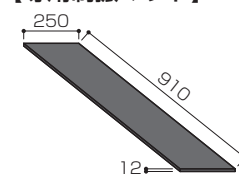
本製品は防音性能を考慮した床下地材です。正しい施工をされない場合には、製品本来の性能を発揮できない恐れがあります。施工前に必ず「施工説明書」をお読みいただき、適正な施工をおこなってください。

名 称	名 称	品 番	寸 法	入 数	重 量	同梱品
オトユカベースS	専用下地パネル	GB0703-1	37.5×909×1818mm	2枚/梱	約9.5kg/枚	施工説明書
	専用制振マット	GB0703-2	12×250×910mm	1枚/梱	約6.5kg/枚	—
	専用施工部材 根太用マット	GB0703-B01	2×40×40mm	60枚/梱	約0.4kg/梱	—

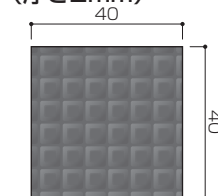
【専用下地パネル】



【専用制振マット】



【専用施工部材 根太用マット】
(厚さ2mm)



(単位: mm)

⚠ 注 意

【製品の保管】・水がかからず、湿気の少ない平滑な所に平積みしてください。

・直射日光を避けて暗所に保管してください。

【施工上の注意】・施工時に必要な工具として「電動丸ノコ」「カッターナイフ」「インパクトドライバー」「釘打機」、接着剤はダイケン「捨て張り工法用ボンド」を準備してください。

・防音性のある床下地材ですので、重量物を載せると床の沈みが発生することがあります。重量物を設置するときは局部的に荷重がかからないように式台などを用いて荷重を分散させてください。特にピアノなど重量物を後から置かれる場合は、広い面積で荷重を受け、一箇所に荷重が集中しないように分散させてください。(ピアノを置かれる場合には、別売の「ダイケン防振ベース(品番: YB08012)」をおすすめします。)

・下地の不陸が1mあたり3mm以下になるように、事前にならしモルタル等で十分調整してください。

・際根太材、オトユカベースSは必ず壁との隙間を10mm程度空けてください。また、仕上げ材は必ず壁との隙間を3～5mm程度空けてください。壁に突きつけて施工すると、湿気により合板フロアが伸びた場合、床鳴りや合板フロア目地の突き上げの原因となります。

・合板フロアや捨て張り材の留めつけに普通釘やフィニッシュネイルは絶対に使用しないでください。

床鳴りや合板フロアの浮き上がりの原因となります。また、合板フロアは本製品の小根太方向と直交するように施工してください。

★合板フロアは12mm厚以上で303mm×1818mmのサイズを使用してください。それ以外のサイズの合板フロア及び合板以外(MDF等)のフロアは12mm厚以上の合板を捨て張りしてから施工してください。(捨て張り材の施工はビス(φ3.8、長さ32～38mm程度)を使用してください。長すぎるとスラブ面と接触して製品本来の性能が発揮されない恐れがあり、短すぎるとオトユカベースSに留めつけられず剛性が落ち、同様に性能が得られない恐れがあります。)

★合板フロアはフロアネイル38mmやフロアステーブル38mm(肩幅4mm以上)をお使いいただき、接着剤を併用して施工してください。

★無垢材のフローリングは使用しないでください。

・際根太部の根太材は現場にて手配してください(厚さ18mm程度、巾40mm程度を推奨します)。

また、根太下のマットは専用の施工部材「オトユカベースS専用施工部材 根太用マット(品番: GB0703-B01)」をご使用ください。

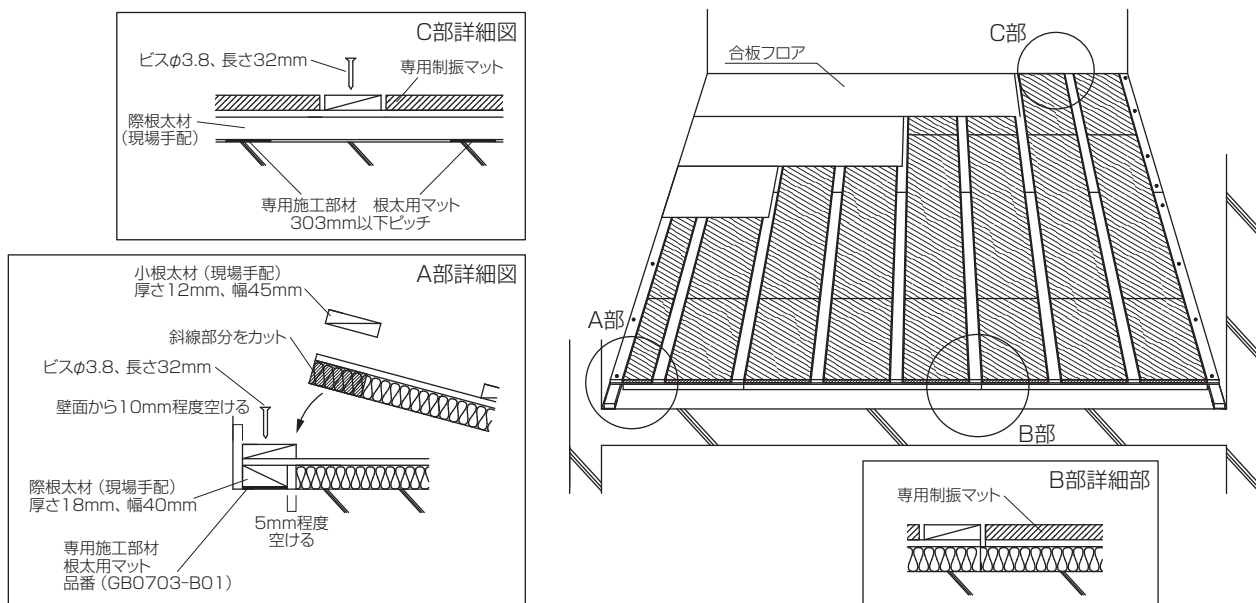
【廃棄上の注意】・本製品を廃棄するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い、「廃プラスチック類」と「木くず」の混載物として適正に処理してください。詳細は各自治体にご確認ください。

警告表示の種類と内容

注意

誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

施工仕上り図



施工手順

1. スラブ不陸の調整

- 床スラブに凹凸がある場合は、下地の不陸が1mあたり3mm以下になるように、事前にならしモルタル等で十分調整してください。ならしモルタルが十分に乾燥していることを確かめた後に、オトユカベースSを施工してください。

2. 際根太の施工

- 際根太は壁際四周や開口部の周りに施工してください。
※大型冷蔵庫等の重量物を置かれることがあらかじめわかっている部分についても、床の沈み込み対策のため際根太を設置してください。
- 根太材は現場にて手配をしてください。(推奨根太材：厚さ18mm巾40mm程度)(上記「施工仕上り図」参照)
- 根太材下には別売「オトユカベースS専用施工部材 根太用マット 品番：GB0703-B01」(サイズ：厚2mm×40mm×40mm)を303mm以下のピッチで配置してください。
※「オトユカベースS専用施工部材 根太用マット」と根太材はウレタン系接着剤(ダイケン「捨て張り工法用ボンド」をおすすめします)で接着し、接着剤硬化までのマット脱落防止のためマット側からピンタッカー等で留めつけてください。
- ※根太用マットの片面は凸状にエンボス加工されています。エンボス加工面がRC床面側になるように設置してください。
- 上記で作製した際根太材をRC床面にウレタン系接着剤(ダイケン「捨て張り工法用ボンド」をおすすめします)にて接着してください。
※別売「オトユカベースS専用施工部材 根太用マット」は6畳相当の部屋に対して約1梱(60枚入)が必要です。
※際根太と壁面の間に10mm程度の隙間を設けてください。

3. 専用下地パネルの敷きこみ

- 合板フロアの割付を考慮し、専用下地パネルの短辺目地が合板フロアの長辺目地と重ならないよう専用下地パネルを割り付けてください。
- 専用下地パネルは電動丸ノコでカット可能です。カットする際は、小根太と小根太の間に12mm厚の板材(合板等)をはめ込んでフラットにするとカットが容易です。不織布手前まで電動丸ノコでカットし、残った不織布部分はカッターナイフでカットしてください。電動丸ノコの刃に不織布が絡まることなくスムーズにカットできます。
- 専用下地パネルは床スラブに直に置敷きし、小根太が303mm間隔で配置されていることを確認しながら敷きこんでください。
※際根太同様、専用下地パネルと壁面の間に10mm程度の隙間を設けてください。
- 際根太にかかる部分は裏面の不織布を45mm幅程度カッターナイフで切り取って、専用下地パネルの小根太部分から際根太に対してビスφ3.8、長さ32mmを用いて303mm以内のピッチで留めつけてください。また、専用下地パネルの小根太部分がない箇所は、12mm厚合板を45mm幅にカットしたものを際根太に対してビスφ3.8、長さ32mmを用いて303mm以内のピッチで留めつけてください。(「施工仕上り図 A部」参照)

- ・開口部下等に床見切り材や敷居が納まる直下にも上記小根太材を専用下地パネルに対してビスφ3.8、長さ32mmを用いて303mm以内のピッチ留めつけてください。（「各部納まり図」参照）



注意

- ・専用下地パネルの敷きこみ後、小根太が303mm間隔で配置されていることを確認してください。
- ・ビス打ちする際に長さ32mmのビスをお使いください。32mm以上のビスを使用すると、ビスがスラブ面に当たり、床鳴り等の不具合が発生する恐れがあります。

4. 専用制振マットの敷きこみ

- ・専用下地パネルの小根太と小根太の間に、専用制振マットを置敷きしてください。
- ※専用下地パネルの短辺側目地と専用制振マットの短辺側目地が重ならないように割り付けてください。
- ※専用制振マットの切断はカッターナイフを用い、まず片面に切り目を入れて板材等の角に当てて折り、裏面に残ったシートを切り取ってください。
- ※際根太同様、専用制振マットと壁面の間は10mm程度の隙間を設けてください。

5. 合板フロアの施工

<12mm厚以上、幅303mm×長さ1818mmの合板フロアの場合>

- ・合板フロアは12mm厚以上で303mm×1818mmサイズをお使いいただくと、専用下地パネルに直接施工することができます。
- ※合板フロアは専用下地パネルの小根太方向と直交するように施工してください。
- ※合板フロアの施工前に専用下地パネルの小根太が303mmピッチで配置されていることを確認してください。
- ※釘と接着剤を併用して施工してください。接着剤はダイケン捨て張り工法用ボンドを使用し、ノズル径を8φにカットし、150mmピッチで小根太上と専用制振マット上に線状に塗布してください。釘打ちはフロアネイル38mmまたはフロアステーブル38mm（肩幅4mm以上）をお使いいただき、合板フロア長辺雄実部に303mmピッチ、短辺雄実部に2箇所以上で専用下地パネルの小根太上に釘打ちしてください。
- ※合板フロアと壁面の間は3～5mm程度の隙間を設けてください。



注意

- ・仕上げ材に無垢材のフローリングは使用しないでください。
- ・合板フロアの施工前に専用下地材の小根太が303mm間隔で配置されていることを確認してください。
- ・合板フロアの留めつけに普通釘やフィニッシュネイルは絶対に使用しないでください。床鳴りや合板フロアの浮き上がりの原因となります。
- ・釘打ちする際に38mm以上のフロアネイルまたはフロアステーブルを打ち込まないでください。釘がスラブ面に当たり、床鳴り等の不具合が発生する恐れがあります。
- ・合板フロアを壁面に突き付けしないでください。湿気により合板フロアが伸びた場合、床鳴りや合板フロア目地の突き上げの原因となります。

<12mm厚未満、幅303mm未満×長さ1818mm未満の合板フロアおよび合板以外（MDF等）のフロアの場合>

- ・12mm厚以上の合板を専用下地パネルの上にビスφ3.8、長さ32mmを用いて303mm以内のピッチで小根太に対して直交するように捨て張りし、その上から各種フロアの標準施工に従ってフロアを施工してください。
- ※専用下地パネルの目地と捨て張り材の目地が重ならないように割り付けてください。
- ※捨て張り材同士は2～3mm程度の隙間を設けてください。
- ※捨て張り材・合板フロアと壁面の間は3～5mm程度の隙間を設けてください。



注意

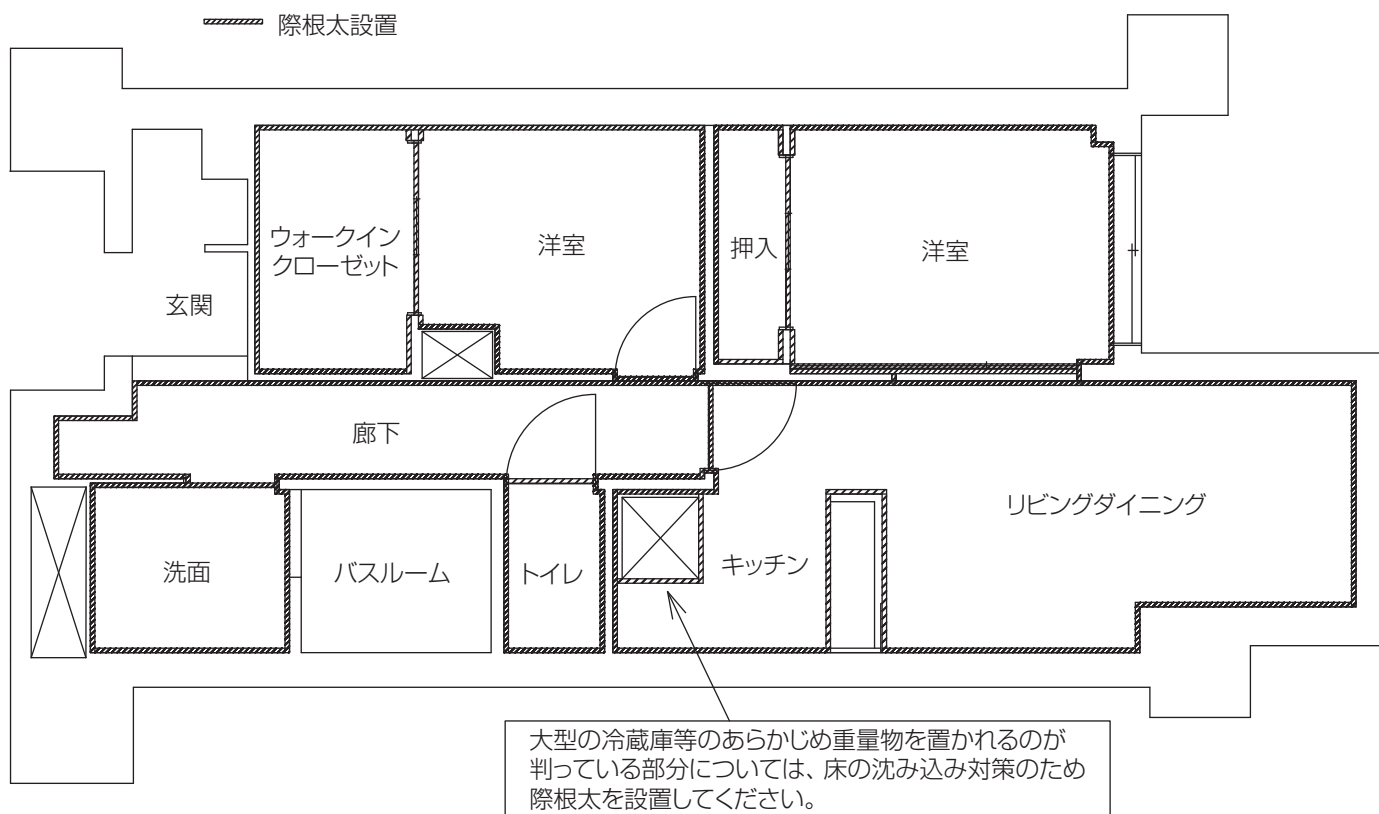
- ・仕上げ材に無垢材のフローリングは使用しないでください。
- ・フロアや捨て張り材の留めつけに普通釘やフィニッシュネイルは絶対に使用しないでください。床鳴りやフロアの浮き上がりの原因となります。
- ・釘打ちする際に50mm以上のフロアネイルまたはフロアステーブルを打ち込まないでください。釘がスラブ面に当たり、床鳴り等の不具合が発生する恐れがあります。
- ・フロアを壁面に突き付けしないでください。湿気によりフロアが伸びた場合、床鳴りやフロア目地の突き上げの原因となります。

6. 各種納まり部材の施工

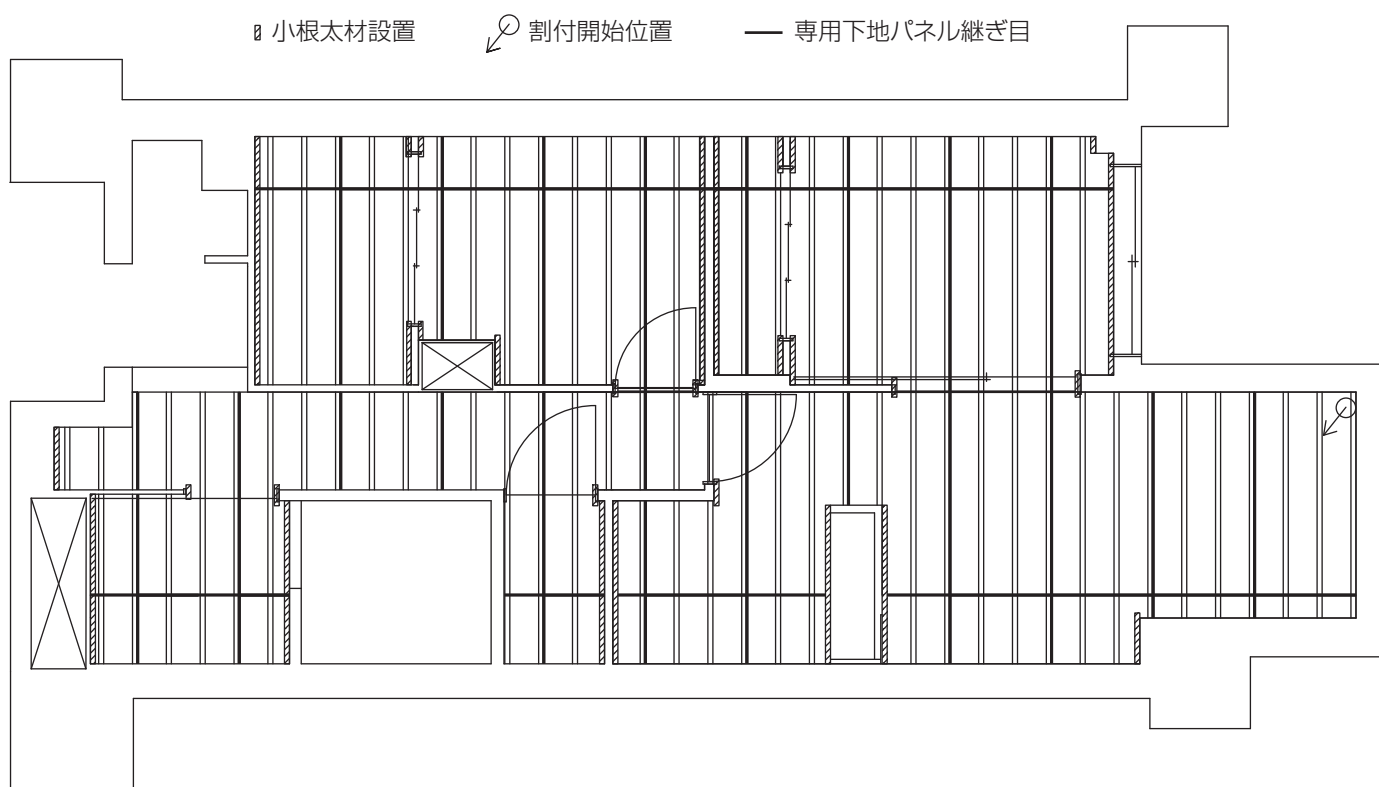
- ・巾木は合板フロアから2mm浮かした状態で施工してください。巾木を合板フロアに接地した状態で施工させると床衝撃音遮断性能の悪化の原因となります。
- ・開口部等に設置する床見切り材や敷居等の下には小根太材を配置してください。（「開口部納まり図」参照）
- ※床見切り材等は長さ32mm以下の釘・ビスで留めつけてください。

割付図

■ 際根太 割付図例



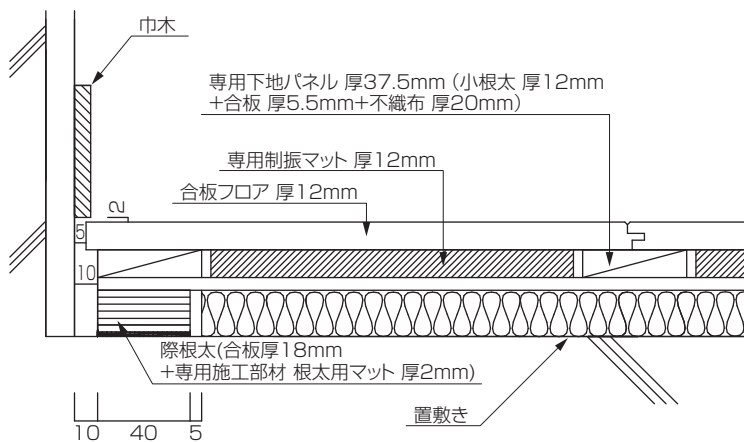
■ 専用下地パネル 割付図例



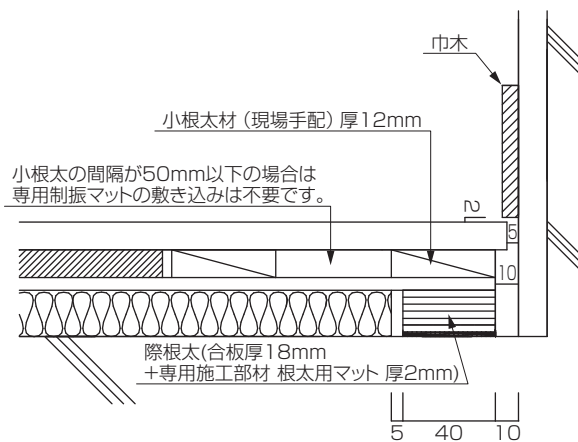
各部納まり図

壁際納まり図例

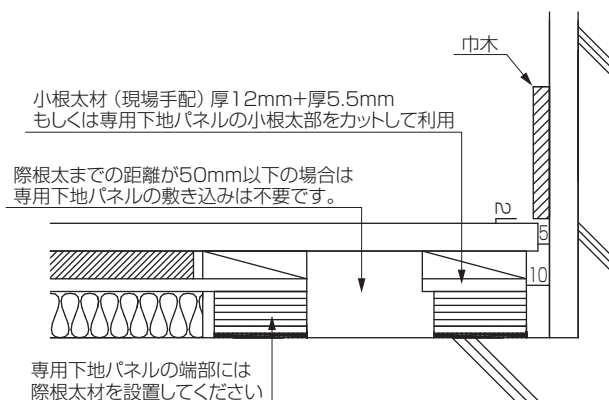
■専用下地パネルの敷き込み開始部分



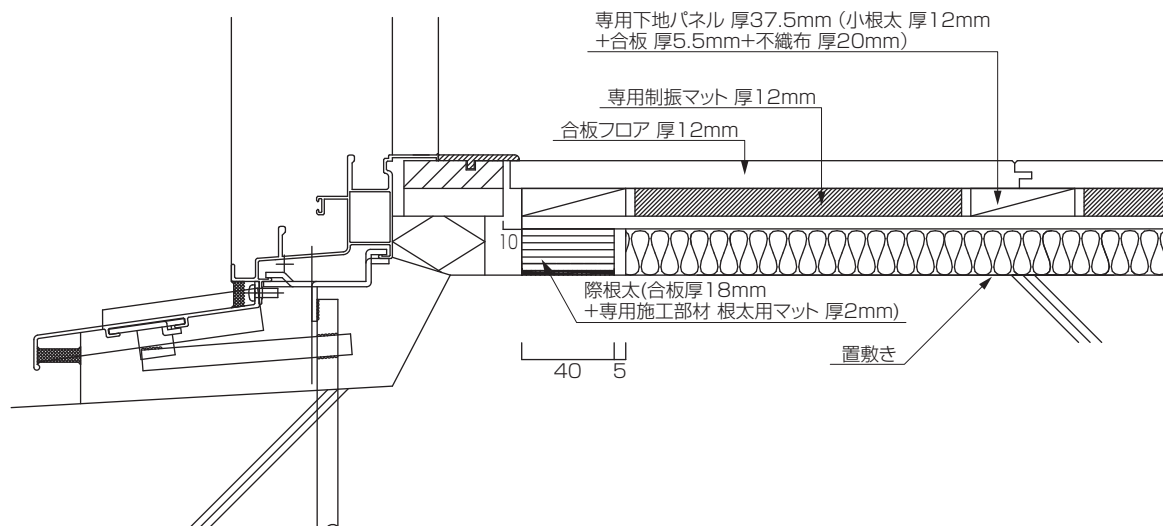
■専用下地パネルの敷き込み終わり部分



※専用下地パネルの幅が50mm以下になる場合



サッシ廻り納まり図例

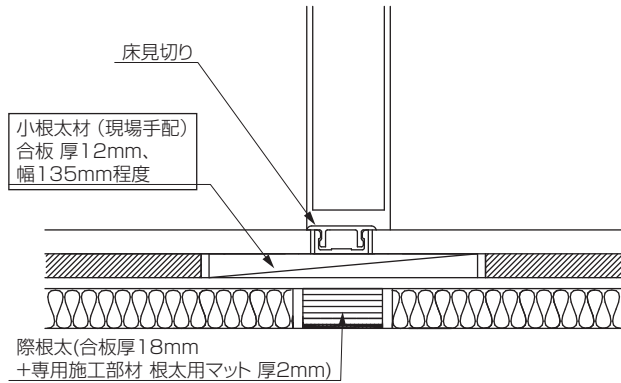


開口部納まり図例

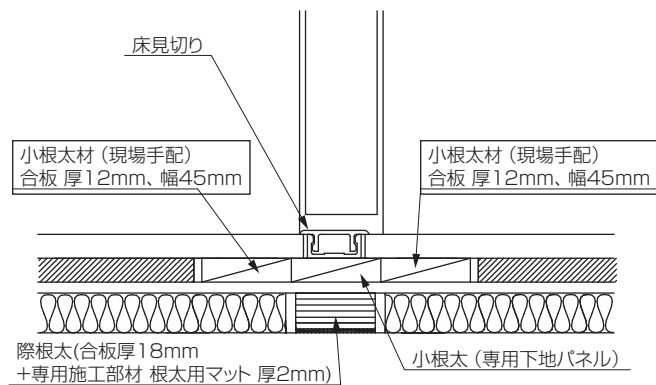
■専用下地パネルの小根太と平行する場合

<床見切り>

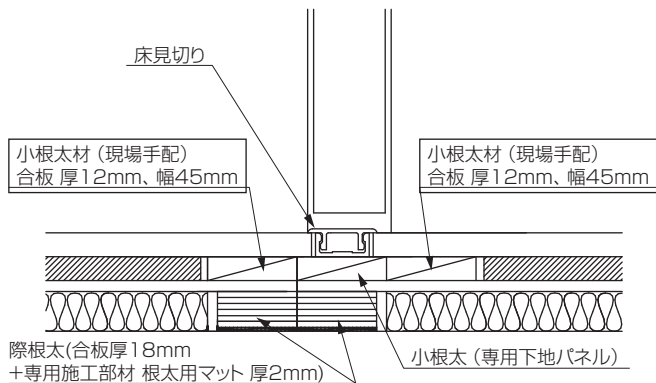
- ・専用下地パネルの小根太が床見切りの下にある場合
→小根太を追加



- ・専用下地パネルの小根太が床見切りの下にある場合
→両側に小根太を追加

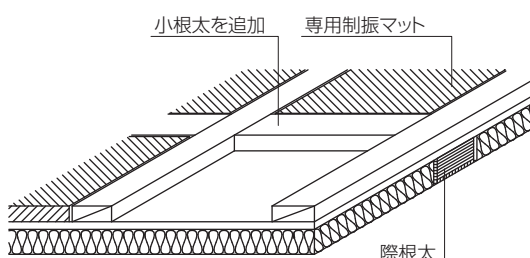


- ・床見切りの下で専用下地パネルを継ぐ場合
→際根太と小根太を追加



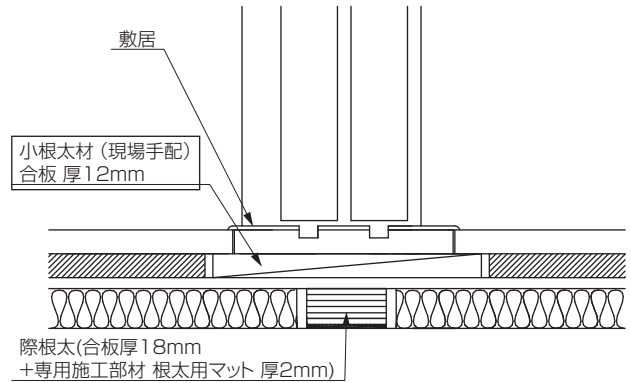
■専用下地パネルの小根太と直行する場合

→小根太と直行方向に小根太追加

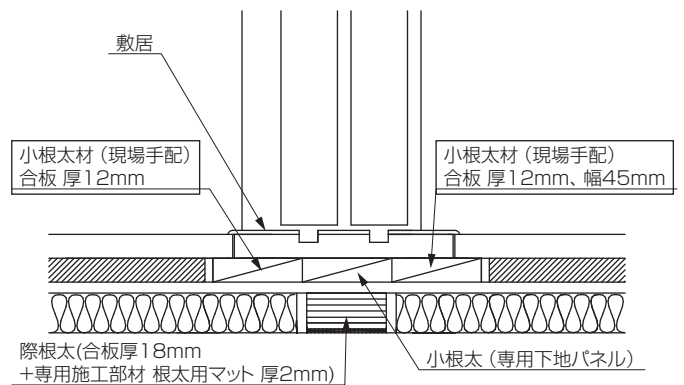


<敷居>

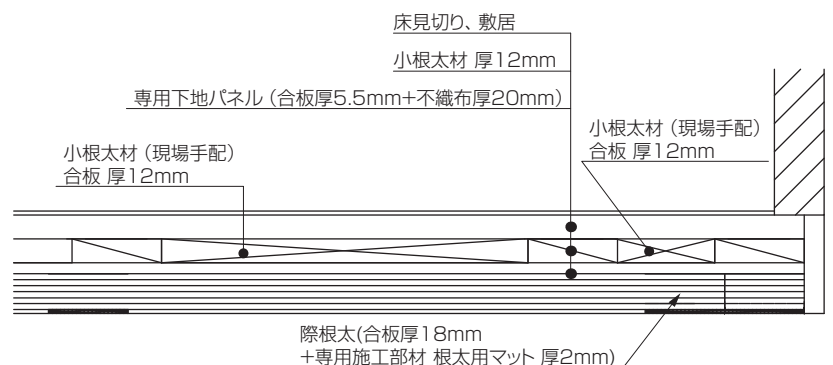
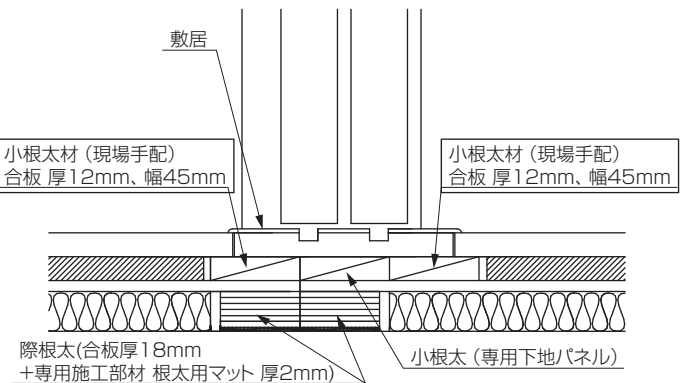
- ・専用下地パネルの小根太が敷居の下にある場合
→小根太を追加



- ・専用下地パネルの小根太が敷居の下にある場合
→際根太と小根太を追加



- ・敷居の下で専用下地パネルを継ぐ場合
→際根太と小根太を追加



ホルムアルデヒド発散区分資料

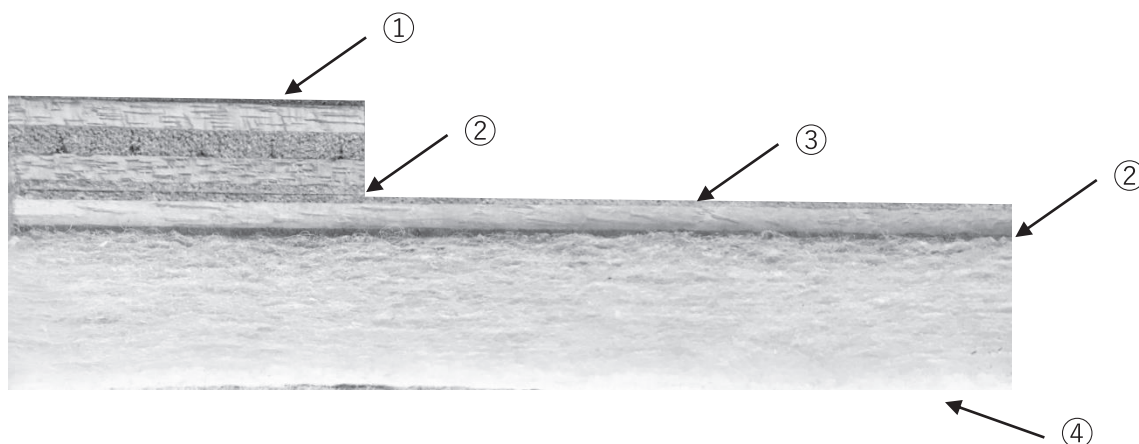
オトユカベースS 専用下地パネル

F ☆ ☆ ☆ ☆
(住宅部品表示ガイドラインによる)

この度はダイケンオトユカベースSをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
オトユカベースS 専用下地パネルのホルムアルデヒド発散に関する性能担保は下の図表の通りです。
建築確認の際に本資料をご利用ください。

●製品の構成とホルムアルデヒド発散区分

【専用下地パネル】



構成部位		表面材料	発散区分	備考
①	小根太部分	合板	F ☆☆☆☆	JAS普通合板
②	接着剤	エチレン酢ビ系接着剤	F ☆☆☆☆	JAIA004033
③	合板部分	合板	F ☆☆☆☆	JAS普通合板
④	不織布	PET繊維	告示対象外	

●製品に関する情報・お問い合わせ

最寄りの弊社営業所にお問い合わせいただくが、弊社ホームページ (<http://daiken.co.jp>)
をご利用ください。

ユーザー登録サービス

このたびは DAIKEN 製品をお求めいただき誠にありがとうございます。
製品を末永く安全にご愛用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。
ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報を DAIKEN からご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!

登録はこちらから <https://www.daiken.jp/user/>



ユーザー登録いただいた方には、
次の特典が受けられます

特典 パーツショップ製品10%割引
ご登録いただくと、DAIKENのパーツショップ取扱製品を通常価格の10%割引でご購入いただけます。

大建工業株式会社

DAIKEN のホームページアドレス
<https://www.daiken.jp/>

お問い合わせ

サウンドセンター

東京 TEL(03)6271-7785 大阪 TEL(06)6205-7245
受付時間：平日10:00～17:00(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みとなります。)